



チェンジ！みんなの街部会



古滝明音議長

次に、チェンジ！みんなの街部会 10番 河内中学校3年 齋藤雫さん，12番 陽南中学校2年 神戸繭さん，35番 宇都宮海星女子学院高等学校2年 兼光宏枝さん，36番 作新学院高等学校3年 大貫友美さん。

10番 齋藤雫議員

議長，10番

12番 神戸繭議員

議長，12番

35番 兼光宏枝議員

議長，35番

36番 大貫友美議員

議長，36番

〔10番 齋藤雫議員，12番 神戸繭議員，35番 兼光宏枝議員，36番 大貫友美議員 登壇〕

10 番 齋藤雫議員, 35 番 兼光宏枝議員

10 番, 河内中学校の齋藤雫です。

35 番, 宇都宮海星女子学院高等学校の兼光宏枝です。

「住みやすい中心街」について提案いたします。

私たちは、中心市街地への居住促進について考える中で、私たちと同年代の子どもが中心市街地への居住についてどう考えているのかを調べるために、それぞれの中学校、高校に通う生徒に対しアンケート調査を行いました。内容は、将来中心市街に住みたいかどうかとその理由です。その結果、約 9 割の生徒が住みたくないと回答しています。その理由として、「騒音」や「治安が悪い」などが上げられましたが、中でも「緑がない」という意見が大多数を占めました。そこで緑を増やすためにはどうしたら良いかを検討したところ、建物の屋上に庭園を作るなどの意見が出たことから、限りあるスペースの中で自然を作ることが大切だという結論にいたりしました。

現在、宇都宮市では、中心市街地の活性化を進めています。しかし、市街地の再開発などによって自然が失われてしまった所もあります。再開発が進められ建物ばかりになってしまったら、人が住みたくなくなるような街にはならないのではないのでしょうか。

そこで、私たちは中心市街地の活性化をすすめる際に、今ある自然を守りつつ、新たな緑化を進めることを提案します。緑化が進むことによって景観の良さも保たれ、人が住みやすい街になるでしょう。また、そのことで宇都宮市のクリーンアップにもつながります。さらに、緑化の一環として公園などの公共スペースがさらに整備されれば、子どもとお年寄りの憩いの場所となり、「治安が悪い」というイメージの改善も期待できます。

以上の提案によって、人が住みやすい環境を創出することで、中心市街地に多くの人々が集うものと考えます。

以上で提案を終わりにします。よろしくお願いいたします。

12 番 神戸繭議員, 36 番 大貫友美議員

36 番, 作新学院高等学校の大貫友美です。

12 番, 陽南中学校の神戸繭です。「ごみのないまちづくり」を目指した取り組みについて提案いたします。

現在本市では、ごみの分別化や事業所に対するごみの有料化などにより、着実にごみの減量化が進んでいます。しかし、生ごみについては、その 8 割が水分のため、ごみの全体量を増やす結果となっています。また、「一般廃棄物処理基本計画」における減量目標である平成 22 年度 141,800 t にはまだ程遠い状況であり、目標を達成するには、市民一人 1 日当たり約 115 グラム、卵 2 個分の減量が必要となります。

また、「不法投棄未然防止推進計画」に基づき、処理業者に対する指導の強化、地域住民による監視、荒地への看板や柵の設置などの対策により、不法投棄は着実に減少していますが、昨年度の通報件数が 636 件と、まだまだ地道な取り組みを継続していく必要があります。

そして、市街地を中心に安全で快適なまちづくりを目指し、本年 4 月から、条例に基づき「路上喫煙等禁止区域」と「美化推進重点地域」における喫煙所以外での喫煙やポイ捨てなどに対し、警告や罰則が適用されることになりました。

そのようなさまざまな取り組みが進められている中、私たちは、さらにごみのないまちづくりを

目指し、次の2つの取り組みを提案いたします。

まず、1つ目は、「ごみをゲキ減！！3ヶ条」の制定及び啓発です。お手元の資料をご覧ください。

「生ごみは ごみ捨て前に ひとしぼり」「紙ごみは 燃やさず捨てず リサイクル」「エコバッグ みんなで持てば ごみが減る」の3ヶ条を示したこのようなチラシを全世帯に配布し、家庭内に貼ってもらい、日々の生活の中でできることからごみ減量化に取り組んでもらえるようにしてみようでしょうか。

2つ目は、現在年3回行っている全市一斉清掃において、本市が目指す「美しいまちづくり」の模範となる取り組みが行われている自治会を選出、表彰し、市ホームページや広報紙などでも紹介するという事です。表彰された自治会の皆さんにとっては今後の活動推進への励みとなり、他の自治会においても、それをお手本にして取り組みが活発となることでしょう。

これらを通じて、ごみを減らそうという市民の意識を高めるとともに、自分たちが住んでいる地域に対する愛着が生まれ、また地域内の人と人とのつながりも深まっていくことと思います。そして、その積み重ねの中で、市民一人ひとりが誇れる宇都宮となっていくのではないのでしょうか。

以上で提案を終わります。よろしく申し上げます。

佐藤栄一宇都宮市長

議長、市長

古滝明音議長

市長

[佐藤栄一宇都宮市長 登壇]

佐藤栄一宇都宮市長

宇都宮のことを大切に思う気持ちにあふれた齋藤議員、兼光議員の御質問に感心いたしました。

また、生徒の皆さんには、アンケート調査を実施したうえでの貴重な御提案、大変、ありがとうございました。

それでは、「中心市街地活性化を進める上での緑化の推進について」の御質問にお答えいたします。

本市におきましては、中心市街地において、市民をはじめ、本市を訪れた皆様に安全で快適に過ごしていただくため、城址公園やオリオンスクエアなどの人が集まる拠点広場の整備や、歩きタバコやごみのポイ捨てを禁止する区域を条例で定めるなど、さまざまな事業に取り組んでまいりました。

そのような中、緑化の推進につきましては、道路整備に併せて街路樹を植えたり、公園や釜川沿いに樹木を植えるなどして、緑を増やしてまいりました。

また、地域の人々とシンボルロードの街路灯に草花で飾りつけをしたり、二荒山神社前の「パルコ」に代表される中心市街地の再開発では、新たに樹木を植えるなど、市民や事業者の協力をいただきながら、緑の創出に努めておりますがまだまだ、必要と考えております。

議員ご提案の公共施設や民有地の限りあるスペースを活用し、緑を増やしていく取組は、人が住みやすい環境を創出する上で、極めて大切であると考えております。こうしたことから、今後は、

敷地内への緑化や、建物の屋上、並びに壁面への緑化など、さまざまな都市緑化の仕組みを検討し、市民との協働によるまちづくりを進め、誰もが住みたいと思える安全・安心で緑豊かな中心市街地の形成に努めてまいります。

ごみのないまちづくりを目指した取り組みにつきましては、環境にやさしいまちをつくる上で大変重要なことであり、御質問いただいた大貫議員、神戸議員の提案に感銘を受けました。

本市ではこれまでも市民協働を基本理念とした、「宇都宮市みんなでごみのないきれいなまちをつくる条例」による、ごみの持ち帰りの働きかけや、「宇都宮市不法投棄未然防止推進計画」に基づく、地域住民による不法投棄監視パトロールへの支援などさまざまな取り組みを行っております。

また、ごみの減量を図るためには、市民の皆様の日々の生活の中での取り組みが不可欠でありますことから、具体的で分かりやすい資料を作成し、学校や地域での環境出前講座や各種イベントでの周知のほか全自治会を対象とした分別講習会など、あらゆる機会を通して意識啓発活動を実施してまいりました。

その結果、焼却ごみ量は、平成15年度の約19万トンをピークに、平成20年度には、約16万3千トンと2万7千トン、市民1人1日当たり145グラムを減量いたしました。議員御指摘のとおり、平成22年度の減量目標を達成するためには、さらに、115グラムの減量が必要です。

議員御提案の「ごみをゲキ減！！3ヶ条」につきましては、「もったいない運動」の取り組みである、生ごみの減量、紙の分別、レジ袋の削減が非常に簡潔で分かりやすく表現されており、大変感心しております。

現在、プラスチック製容器包装など新しい分別に合わせ、ごみ分別の冊子「資源とごみの分け方・出し方」を作り直しておりますことから、さっそく、御提案いただいた「ごみをゲキ減！！3ヶ条」をこの冊子に掲載し、来年2月、全世帯に配布してまいります。

次に、「全市一斉清掃における自治会表彰」についてであります。議員御提案の趣旨を反映した表彰制度は、現在、3つ実施しているところです。

その1つ目は、全市一斉清掃を提唱する市民憲章推進協議会が実施しているものです。これは市民憲章を広く皆さんに知っていただくため、「明るく、楽しく、美しいまちづくり」に向けて、地道で優れたまちづくり活動を継続的に行っている個人や団体、企業等を表彰しております。これまでに3個人、16団体を表彰しており、自治会が実施する清掃活動もこの対象となります。

2つ目は、より良い地域社会をつくるため市が自治会を対象として実施するもので、清掃活動や防犯活動、福祉活動などにおいて、他の模範となる活動をしている自治会を表彰し、活動内容を市ホームページ等で紹介しております。これまでに74自治会を表彰いたしました。

3つ目は、地域の環境美化への貢献やごみの減量化・資源化などに率先して取り組んでいる個人や自治会などの団体に対し、市が表彰する制度で、過去5年間に個人は120人、団体は94団体へ感謝状を贈呈いたしました。

しかし、こうした表彰制度はまだまだ周知が行き届かないところもありますことから、議員御提案の通り、さらに広く周知を図り、全市に美化活動が広がるよう、努めてまいります。

そして、市民の皆様が、「宇都宮市に生まれてよかった」、「宇都宮市に住んでよかった」と思えるよう市民、行政が一体となってごみのないきれいなまち「うつのみや」を目指し、取り組んでまい

ります。

古滝明音議長

以上で、チェンジ！みんなの街部会の質問を終わります。

質問者が半数を終了しましたので、暫時休憩いたします。再開は2時5分といたします。なお、再開後の会議は、三井副議長と石川事務局長に交代いたします。

ごみをゲキ減！！3ヶ条

1

生ごみは

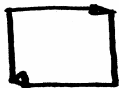
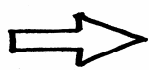
ごみ捨て前に

ひとしぼり

2

紙ごみは

燃やさず捨てず



リサイクル

3

エコバッグ

みんなで作れば

ごみが減る

